

# 交通安全通信

## 第六十四号 (夏号)

～地域交通安全センター～  
スルガ自動車学校

〒424-0204  
静岡市清水区興津中町5-2-1  
フリーダイヤル0120-017-120

### 夏の交通安全県民運動

【期間】

令和六年七月十一日  
から

令和六年七月二十日までの  
十日間です。

### 運動の重点

①子どもと高齢者の  
交通事故防止

②自転車と二輪車の  
安全利用の推進

③飲酒運転等危険運転の  
根絶

④自分自身と相手を守る交  
通ルールとマナーの徹底  
（人も車も自転車も）

交通ルール・マナーを  
みんなで守って事故0へ！

清水警察署 交通課  
警察官 金岩係長より

「自転車乗車中と

横断中の事故に注意！」

「え!! こんな所に歩行者  
が！」

ドライバーの皆さんは、  
車を運転している時に、  
思わぬ歩行者や落下物など  
でヒヤリとした経験がある  
と思います。

静岡県内の人身交通事故  
は、昨年の同じ時期と比べ、  
発生件数は減少しています。  
その一方で、交通事故によっ  
て亡くなられた方は増加し  
ております。  
では、どのような事故で  
なくなっているのでしょうか。

多くを占めているのは、  
自転車乗車中と歩行中の事

故です。自転車では交差点  
での出会い頭、歩行者では  
横断歩道以外の場所を横断  
中の交通事故により命を落  
としています。



交通事故を起こさせない、  
交通事故に遭わないために、  
それぞれの立場で安全運転・  
行動をお願いします。

車を運転される方は、い  
つでも、どこでも、自転車・  
歩行者の飛び出しに注意し、  
見通しの悪い交差点での徐  
行、また、横断歩道のない  
交差点での横断者等の保護

を最優先させてください。

自転車に乗る方は、一時  
停止場所では必ず止まり、  
安全確認をしてください。  
また、横断歩道を使って横  
断する場合は、必ず一度止  
まって安全確認をするなど  
自分の命を守る行動をお願  
いします。

歩行者は、近くに横断歩  
道などがあるときは、その  
横断歩道などを必ず渡って  
ください。やむを得ず横断  
歩道がない場所を横断する  
場合は、車は止まらないも  
のと思つて、車が見えたら、  
遠くても絶対に渡らないよ



うにしてください。

最後にもう一度、人も車  
も自転車も、自分自身と相  
手の命を守る行動をとり、  
悲惨な交通事故を一件でも  
多く未然に防ぎましょう。

### 夏の事故ゼロ キャンペーン (清水海上保安部)

夏はレジャーシーズンです。  
海辺はバーベキューや海水  
浴など楽しいイベントが盛  
りだくさんです。

今回は安全にレジャーを  
楽しむために何が必要か考  
えましょう。

令和五年の海上保安庁の  
統計によれば、海水浴中の  
事故者数は全国で二百五十  
人でした。

このうち死者・行方不明者  
は六十九人（全体の二十八



%)と四人に一人を越える割合で発生しています。

事故者を発生場所別にみると、海水浴場以外(泳いでほだめな場所)での発生が百七十三人(全体の六十九%)、海水浴場(泳いでいい場所)での発生が六十五人(全体の二十四%)となっています。

海水浴場(泳いでいい場所)以外の場所での遊泳は非常に危険が多いことがわかります。

事故者を年齢別にみると、十代が六十三人(全体の二十五%)と最も多く、次いで二十代が四十一人(全体の十六%)となっています。保護者が目を離れた隙に小さなお子様がなくなる事故は多く発生していますので注意しましょう。

今年六月には浜松市の海岸で溺れていた男子小学生を助けようと海に入った四十代のブラジル国籍の男性が溺れ、意識不明の重体で病院に運ばれましたが死亡

しました。小学生は別の人に助けられて無事でした。とても悲しい事故が起きています。

●遊泳中の事故防止のポイント

①ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で泳ぎましょう。

②立ち入りが禁止されている場所には入らないようにしましょう。

③波の高い日や風の強い日などは泳がないようにしましょう。

④海水浴は大人と一緒に行きましょう。(保護者は常に子供から目をはなさない)

⑤小さい子供はライフジャケットを着用しましょう。

●皆でなくそう！

●子どもの交通事故

子どもの交通人身事故 自宅から五百メートル以内で多発しています。また自転車では、交差点



での安全確認が不十分であったり一時停止をしなかったことが原因になっています。

●皆さんも

気を付けましょう！

●交通事故が多い時

●道路を渡る時 横断歩道を渡りましょう！

●学校、自宅付近

いつも通るところも安心しない！お家に着くまで安全に！

●夕方時間帯

クルマ、自転車が多くなる時間帯です。周りをよくみて通行しましょう！

●自転車の事故

交差点では左右確認！止まれ！のマークは必ず一度止まりましょう。

●道路への飛び出し

クルマは急には止まれません！よく見てから渡りましょう！

●自転車は、車道通行が原則です。

子ども(十三歳未満)が、自転車に乗る時は、歩道を走ることが出来ます。(追記)大人(十三歳以上)が自転車で歩道を通れるのは、標識などある場合と車道を通るのが危険な場合です。

●歩道では、車道寄りをゆっくり進みましょう。

(注記)歩行者が多いときは、自転車からおりて、おして歩きましょう。

●交通ルールを守りましょう。

う。

自分、そして他の人を守るために

★二人乗りをしてはなりません。

★自転車でならんで走ることとはやめましょう。



★まわりが暗くなったら、かならずライトをつけましょう。

★信号を必ず守りましょう。

★左記標識があるところでは一度とまって右と左の安全を確認しましょう。

